

平成 26 年 4 月 23 日

高松市議会議長 殿

氏名 落合 隆夫



政務活動費収支報告書

高松市議会政務活動費の交付に関する条例第 6 条により、次のとおり平成 25 年度の交付に係る政務活動費の収支を報告します。

- 1 収入 1,200,000 円  
2 支出 1,200,000 円

支出の内訳

(単位：円)

| 経費の区分      | 金額        | 摘要       |
|------------|-----------|----------|
| 1 調査研究費    | 115,824 円 | 内訳別紙のとおり |
| 2 研修費      | 205,174 円 | 内訳別紙のとおり |
| 3 広報費      | 851,963 円 | 内訳別紙のとおり |
| 4 広聴費      | 5,917 円   | 内訳別紙のとおり |
| 5 要請・陳情活動費 | 0 円       |          |
| 6 会議費      | 0 円       |          |
| 7 資料作成費    | 7,461 円   | 内訳別紙のとおり |
| 8 資料購入費    | 13,661 円  | 内訳別紙のとおり |
| 9 人件費      | 0 円       |          |
| 10 事務所費    | 0 円       |          |

- 3 残額 0 円

注

- 「経費の区分」欄には高松市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則別表の左欄に掲げる経費の区分を、「金額」欄には当該経費に充てた金額の総額を、「摘要」欄には当該経費の区分における支出の内訳について同表の右欄に掲げる費用ごとの金額を、それぞれ記入すること。
- この報告書には、領収書等の証拠書類の写しを添付すること。

政務活動費 金銭内訳票

高松市議会議員 落合 隆夫

| 項目         | 内 訳       | 金額 (円)  | 項目         | 内 訳       | 金額 (円) |
|------------|-----------|---------|------------|-----------|--------|
| 1 調査研究費    | 1 交通費     | 88,940  | 6 会議費      | 1 会場借上げ料  |        |
|            | 2 宿泊費     | 21,000  |            | 2 出席者負担金  |        |
|            | 3 委託料     |         |            | 3 会費      |        |
|            | 4 その他の費用  | 5,884   |            | 4 交通費     |        |
| 2 研修費      | 1 会場借上げ料  |         |            | 5 宿泊費     |        |
|            | 2 講師謝金    | 454     |            | 6 その他の費用  |        |
|            | 3 出席者負担金  | 78,000  | 7 資料作成費    | 1 印刷製本費   |        |
|            | 4 会費      |         |            | 2 委託料     |        |
|            | 5 交通費     | 117,660 |            | 3 事務用品購入費 | 7,461  |
|            | 6 宿泊費     | 9,060   |            | 4 事務機器賃借料 |        |
|            | 7 その他の費用  |         |            | 5 その他の費用  |        |
| 3 広報費      | 1 広報紙等印刷費 | 507,942 | 8 資料購入費    | 1 図書購入費   | 13,661 |
|            | 2 広報紙等送料  | 335,335 |            | 2 資料等購入費  |        |
|            | 3 会場借上げ料  |         |            | 3 その他の費用  |        |
|            | 4 湯茶代     |         | 9 人件費      | 1 給料      |        |
|            | 5 その他の費用  | 8,686   |            | 2 賃金      |        |
| 4 広聴費      | 1 会場借上げ料  | 3,675   | 3 労働保険等保険料 |           |        |
|            | 2 印刷費     |         | 4 その他の費用   |           |        |
|            | 3 湯茶代     | 1,451   | 10 事務所費    | 1 賃借料     |        |
|            | 4 その他の費用  | 791     |            | 2 維持管理費   |        |
| 5 要請・陳情活動費 | 1 交通費     |         |            | 3 備品購入費   |        |
|            | 2 宿泊費     |         |            | 4 事務用品購入費 |        |
|            | 3 その他の費用  |         |            | 5 事務機器賃借料 |        |
|            |           |         |            | 6 その他の費用  |        |

政務活動費領収書等添付用紙

使途項目 仁立

貼付欄

領 収 証

No.A 534370

落 合 様

25年7月1日

|    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 金額 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

但 銀行代金(内、酒油 21000円、交通費 46240円)

|       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 現金    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 小切手   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| クレジット |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

上記正に領収いたしました

JR四国旅客鉄道株式会社

〒760-8580 香川県高松市浜ノ町8番35号

発行箇所 ワープ高松支店

印紙税申告納  
付につき高松  
税務署承認済

24.10. 3×50×1,000 (中央納)

備考

宗像市及び対馬市視察旅費 落合隆夫

## 政務活動記録票

氏名 落合隆夫

|            |   |
|------------|---|
| 年月日        | 平成 25 年 6 月 26・27・28 日  |
| 場 所        | 福岡 県宗像市、長崎県対馬市  |
| 相手方        | 宗像市吉武コミュニティセンター ■■■ 運営協議会長、■■■ 事務局長、市のコミュニティ係長副田氏など<br>対馬市 財部市長、総務課情報連携戦略室長阿比留氏、島おこし協働隊事務局■■■氏  |
| 目 的<br>内 容 | <p>今回のテーマを地域おこしとして、十川、神内、落合、森谷合同で参加。</p> <p>コミュニティビジネスをやっているところということで赤間と吉武のうち吉武コミュニティセンターを選択した。収益事業収入計 12,389,000 円、非収益事業収入は 8,389,000 円、を予算計上している。</p> <p>地区民 1 人 1 株での(株)正助ふるさと村が公園の指定管理受託、婦人の集団「よしたけこころ会」による地産野菜での漬物作りと販売、サニックス所有のスポーツセンター「グローバルアリーナ」をつうじたスポーツ、国際交流など人口 1900 人の地区としては活発な活動が行われていた。</p> <p>吉武歴史観光ボランティアの会の発行になる、「吉武物語」は上下各巻 120 ページを超える大作（合わせて 500 円）である。郷土の歴史や偉人「正助さん・早川勇」について掲載しており、中心となった当ボランティアの会は市民学芸員中級講座参加者との連携を図り人づくり街づくりに努めている。</p> <p>正助さん<br/>上記吉武物語によれば、さぬき出身の柴野栗山の提言を松平定信が採用、江戸期 200 年の農民、孝子、節婦等を表彰した 8614 名のうち 1 人が正助、孝子として今の小学生にも伝えられ、大切にされている。</p> <p>早川勇<br/>上記物語によれば、幕末に活躍し明治 17 年元老院大書記官となる。</p> <p>高松にも孝子塚が見られたが、彼らの功績はだれにも知られないままではないか。</p> <p>コミュニティの決算によれば、収益事業計 12,389,000 円のうち市委託料（コミセン管理・弓道場・住民票発行受託・子供の居場所づくり計 867 万円）+使用料+雑収入で消費税、法人税 40 万円と税理士報酬 30 万円を計上している。非収益事業決算計 8,389,000 円は、全額まちづくり交付金で、人件費や部会運営費用としている。高松市は課税客体とは考えていないようであるが、検討をする必要があるのではないか。</p> |

対馬では、地域マネージャー制度と協働隊事業について学んだ。

地域マネージャー制は人口が減少し、1次産業がイノシシ被害等で衰退する中、各々地域の課題を見出し、将来像について考える。

小学校区にリーダ（次長、課長級）サブマネージャー（課長、補佐級）を置き、各コミュニティ（行政区と呼んでいる）に担当マネージャーを配置するもの。職員 581 名中 367 名（消防等を除いて）を貼り付けたもの。市民主体・市民協働による街づくりへ、市民と職員がともに考え、行動しようとするもので 4 年目を迎えて 6 地区で計画ができたが、区長が毎年変わることから複数年できる人を選ぶとか定着には今後が大変と話す。

25 小学校区、181 の行政区がある。年間 2 回は地域に入るようしているが十分でないとして反省している。

#### 協働隊

総務省の地域おこし協力隊、住民票を現地に置き 1 年から 3 年間、定住を図りながら地域の活性化に貢献することを期待。隊員 1 名につき 400 万円を事後支援、職務内容は自治体に任せる。全国で 617 名が活躍中。香川県では 3 名が活躍中（小豆 1 名真鍋・さぬき市 2 名）過去に善通寺などでの採用もあるということで不知を恥る。

担当者の熱意もあり、活動内容を具体的に提示。専門性を生かした募集から隊員の島外のネットワークも利用できる。

現在 8 名が活躍している。北大卒業の博士による対馬の生物多様性保全。多摩美大卒業生のデザインプロデュースや英語力を生かした対外 PR。イノシシの製品化に向け獣医師や工芸品に向けた挑戦など多方面で頑張り定住を検討している人もいるという。

#### 金田城

高松市の屋島と同じ目的で築造された古代山城。屋島と同じく長年の風雪で崩壊した部分も多い。昭和 57 年 3 月特別史跡に指定され、平成 5 年から発掘調査され、14 年から整備が始まっている。

島民でも在ることは知っていても現地を知らない人が多く、道の状況や見学時間等について知られていなかった。2 km の自動車道も狭く周回園路も雨で土砂が流されて歩きにくかった。

最初の御あいさつで、ことし高松で開催のサミットに財部市長もおいでになるとのことでした。再開を約束し別れた。

別に、神の島、「沖の島」を世界遺産にとの活動を始めている。しかし人は入れず、1 木 1 石も移動は許されない神域で、あまりにも世間に知られていない。

以上宗像市、対馬市視察の報告とする。

政務活動費領収書等添付用紙

|      |     |
|------|-----|
| 使途項目 | (一) |
| 貼付欄  |     |

領収証

No.A 575796

落合 様

26年 2月 4日

|    |  |  |  |   |   |   |   |   |   |
|----|--|--|--|---|---|---|---|---|---|
| 金額 |  |  |  | ¥ | 4 | 0 | 7 | 0 | 0 |
|----|--|--|--|---|---|---|---|---|---|

但 株式会社 (酒造, JR代)

|       |   |   |   |   |   |
|-------|---|---|---|---|---|
| 現金    | ¥ | 4 | 0 | 7 | 0 |
| 小切手   |   |   |   |   |   |
| クレジット |   |   |   |   |   |

上記正に領収いたしました

JR四国旅客鉄道株式会社  
〒760-8580 香川県高松市浜ノ町 番38

発行箇所 ワープ高松支店

印紙税申告納  
付につき高松  
税務署承認済



25.7. 3×50×1,000 (中央納)

備考

鹿児島県鹿児島市 集落営農視察 落合隆夫

政務活動費領収書等添付用紙

|      |     |
|------|-----|
| 使途項目 | 1-4 |
| 貼付欄  |     |

領 収 証

十 川

様

平成26年2月6日

一金 15,000 円

但し、集落営農受講料

上記正に領収いたしました。

住 所 鹿屋市吾平町下名2番地  
氏 名 境田地区水田営農組合  
組合長

備 考

鹿児島県鹿屋市集落営農視察・堺田地区水田営農組合 落合 隆夫分  
研修費 ¥15000円を4人で按分。¥3750円を計上

政務活動記録票

氏名 落合隆夫

|            |  |
|------------|--|
| 年月日        | 平成 26 年 2 月 6 日  |
| 場 所        | 鹿児島県鹿屋市  |
| 相手方        | 吾平総合支所産業建設課下村、島田・境田地区水田営農組合長 様   |
| 目 的<br>内 容 | <p>テーマ 集落営農活動について</p> <p>産業建設課より、鹿屋市及び吾平地区の農業について説明があり。続いて 様から<br/>         耕畜連携による水稻栽培と自主販売米の状況等について説明いただいた。</p> <p>畜産先進の鹿児島県であり、尋ねた鹿屋市の農業も盛んである。人口 47,000 人で一<br/>         次産業従事者は 6,000 人、12.6%であるが、販売農家 3,289 の内専業農家は 2,125 の<br/>         多数である。</p> <p>乳用牛 50 戸 4,131 頭<br/>         肉用牛 1,382 戸 44,701 頭<br/>         豚 166 戸 252,852 頭<br/>         採卵鳥 12 戸 992,839 羽<br/>         ブロイラー 25 戸 1,190,146 羽 (平成 24 年 1 月現在)</p> <p>吾平地区では、平成 15 年 集落農地の 84 パーセントに当たる 351H a の基盤整備<br/>         事業がされたが</p> <p>いつまで農業を続けられるかわからない<br/>         農業機械は高価、投資に絶えられるか<br/>         米を作っても儲からない<br/>         集落で耕作放棄地が出来てきた という他地区と同様な課題を解<br/>         決するため、地権者団体の農用地利用改善団体 (27 人) と受託組織の営農組合 (3<br/>         人) を 19 年 3 月発足させた。25 年の作付けは①水稻 227H a ②W C S 用稲 82<br/>         H a ③飼料作物 44H a ④保全管理 29H a ⑤飼料用米 8H a<br/>         ⑥加工用米 8H a となっている。</p> <p>受託事業は 3 人での作業でありこれには、W C S 稲や飼料作物・水稻藁等の乾燥サ<br/>         イレージ化に畜産農家の協力があつてできる。</p> <p>地権者の意識統一と基盤整備された集合した農地があつてできること。<br/>         営農組合長 様の子供が新規就農されると言うことであつた。1 名雇用拡大。</p> |



政務活動費領収書等添付用紙

|      |     |
|------|-----|
| 使途項目 | 2-3 |
| 貼付欄  |     |

領 収 書  
落合隆夫 様

金 10,000円

但、「第75回全国都市問題会議」に係る会議参加費として  
上記正に領収いたしました。

平成25年10月16日

第75回全国都市問題会議実行委員会  
会 長 釘宮 馨

No.

備 考

政務活動費領収書等添付用紙

|      |            |
|------|------------|
| 使途項目 | 2-5<br>2-6 |
| 貼付欄  |            |

平成 25年 10月 2日 領 収 書 No. 018389

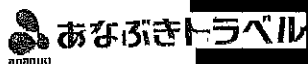
落合 隆夫 様

|    |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 金額 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 |
|    |   |   | 4 | 3 | 2 | 1 | 6 | 0 |

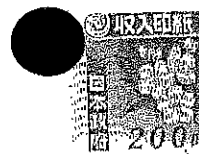
但し平成25年10月10日・11日全国都市問題会議(大分市)交通費  
上記の金額正に領収致しました。

| 内 訳 | 金 額    |
|-----|--------|
| 現金  | 732160 |
| 小切手 |        |
| 振込  |        |
| 相殺  |        |
| 旅行券 |        |

※本証に社印なきもの及び金額を訂正したものは無効。



株式会社 穴吹トラベル  
〒760-0028 香川県高松市鍛冶屋町6番地11  
TEL (087)823-1666(代)



級 者

請求・領収書  
BILL・RECEIPT

〒870-0026  
大分市金池町2-2-5

TEL 097-534-1045 FAX 097-534-1047  
東横INN大分駅前

| お名前(NAME) MR. MRS. MISS.<br>落合 隆夫 様 |                  |               |                 |                             |
|-------------------------------------|------------------|---------------|-----------------|-----------------------------|
| 客室番号(ROOM No.)                      | 人数(PERSONS)      | ご到着 (ARRIVAL) | ご出発 (DEPARTURE) | 備考(REMARKS)                 |
| 1009                                | 1                | 13. 10. 09    | 13. 10. 11      |                             |
| 日付 (DATE)                           | 摘要 (EXPLANATION) | 料金 (CHARGE)   | お支払 (PAYMENT)   | 残高 (BALANCE)                |
| 10. 09                              | 預りカード<br>宿泊料     | 4,680         | 9,060           | -4,380                      |
| 10. 10                              | 宿泊料              | 4,380         |                 | 0                           |
| 小計 (SUBTOTAL)                       |                  | 9,060         | 9,060           |                             |
| ご署名 SIGNATURE                       |                  |               |                 | ご請求額 AMOUNT DUE 0           |
| 会社名 FIRM                            |                  |               |                 | 601 カード                     |
| ご住所 ADDRESS                         |                  |               |                 | 内消費税 INNER TAX 430          |
| TEL.                                |                  |               |                 | C/O-No. 36687-1-01 13/10/11 |
|                                     |                  |               |                 | C/O-CD 8                    |

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。  
Thank you for your stay with us.  
May we have the pleasure of serving you again.

全国都市問題会議 宿泊料

## 政務活動記録票

氏名 落合隆夫

|            |  |
|------------|--|
| 年月日        | 平成 25 年 10 月 10,11 日   |
| 場 所        | 大分県 大分市  |
| 相手方        | 第 7 5 回全国都市問題会議  |
| 目 的<br>内 容 | <p>テーマ 都市の健康</p> <p>大分市からの報告。鎌田 實、中村桂子、久住時男、山岸治男からの講演・報告があり、続いてパネルディスカッションが行われた。他に紙上参加の研究報告がなされた。</p> <p>産業革命以来の二酸化炭素社会の反省を踏まえ、人の健康そして町の健康がテーマとなってきた。数年前からのスローな社会、生活への提案がされてきたが現実の自治体の政策として協議されるようになったことは日本の社会全体として向きを変更していることの証左でしょうか。</p> <p>多くの報告の中で気づいたこと、①大分市民健康ネットワーク協議会の松本会長から市内各種団体による健康づくり応援団が174団体約1万4千人で構成され指導者養成も545名までになっている。みんなのたいそう会としてラジオ体操を地区ごとに開催している。②藤枝の北村市長からは市内で1000人の保健委員が2万員のOBと共に活動しており、がん検診受診率は胃がん24.8% (8.8)、肺がん48.0% (15.7)、大腸がん42.8% (16.3) ( )内は全国平均、と上がっている。③心療内科医海原純子氏の報告ではスポーツ・趣味娯楽活動参加者の要介護度認定率が低いこと。社会参加と高齢者の就業率に見ると長野鳥取島根岩手福島が飛びぬけて高く、東京大阪奈良が低い。なぜか標高が1000m高くなると男性の平均寿命が2歳長くなるそうです。</p> <p>まちの健康ということでは、40年代に築造された団地の高齢化と空き家増は、これから生活弱者を生んでくると共に近隣の生活環境の悪化を招く。</p> <p>いろいろな健康を考える契機となった。</p> |

政務活動費領収書等添付用紙

|      |            |
|------|------------|
| 使途項目 | 2-5<br>2-8 |
|------|------------|

貼付欄

領収証

No.A 556558

落合 様

25年10月21日

|    |  |  |  |   |   |   |   |   |   |
|----|--|--|--|---|---|---|---|---|---|
| 金額 |  |  |  | 4 | 3 | 7 | 0 | 0 | 0 |
|----|--|--|--|---|---|---|---|---|---|

但 宿泊旅費代金

|       |        |
|-------|--------|
| 現金    | 437000 |
| 小切手   |        |
| クレジット |        |

上記正に領収いたしました

JR四国旅客鉄道株式会社

〒760-8580 香川県高松市浜ノ町8番33号

発行箇所 ワープ高松支店

印紙税申告納付につき高松税務署承認済

係

25.7.3×50×1,000 (中央納)

領収証

落合 隆夫 様

No.

★ 430,000 -

但 第15期自治政策講座 参加費として

2013年10月29日 上記正に領収いたしました

〒162-0801 東京都新宿区山吹町293

第三小保ビル3階

自治体議会政策学会

会長 竹下 誠

備考

自治政策講座 参加旅費と参加料

落合隆夫

## 政務活動記録簿

氏名 落合隆夫

|            |  |
|------------|--|
| 年月日        | 平成 25 年 10 月 29.30 日   |
| 場 所        | 東京都 自治体議会政策学会  |
| 相手方        | これからの自治体の課題。解決できる力を得る、をテーマに講座  |
| 目 的<br>内 容 | <p>第 1 講座 生活困窮者支援と自治体<br/>宮本太郎 中央大学教授</p> <p>第 2 講座 世代間交流が元気を生む<br/>藤原佳典 東京都健康長寿医療センター 研究部長</p> <p>第 3 講座 ビッグデータ活用の動向と個人情報保護の考え方<br/>高木浩光 (独) 産業総合研究所 主任研究員</p> <p>第 4 講座 公会計制度の改革の動向と自治体財政<br/>亀井孝文 南山大学教授</p> <p>第 5 講座 滞在型観光創出で地域活性化 (夜景観光と新しい観光振興)<br/>丸々もとお 夜景評論家</p> <p>第1、 土建国家の終焉、非正規社員 1000 万人は家族に根ざした非正規から家族を作れない非正規に変動している。また低所得単身高齢者世帯の激増しており政治は社会のありようを含め革新されなければならない。</p> <p>第2、 孤立を予防する戦術としての世代間交流。世代をつないだ交流は自然発生的には出来ない。そんな中、シニア・読み聞かせボランティア活動が効果を発揮している。参加の高齢者は、選書、練習、実演、反省を通して認知症予防が出来る。</p> <p>第3、 特定の個人を識別していないが個人を識別できる情報(ICカード履歴など)は日本のプライバシー保護の範囲からかけている。情報提供時の個人識別性について合理的匿名化を技術的に行うのは難しい、自治体ではオープンデータの活用が期待されているが個人に影響を与えない統計データとしての提供など最新の注意が必要である。</p> <p>第4、 総務省は 2000 年にバランスシートの作成を導入し、続いて行政コスト計算書を導入したが複式簿記とは別のものとなっており、いくつかの自治体で独自会計化制度が行われている。複式簿記が浸透しないのは、建設公債主義的論理が会計の発生主義的論理に今だ優位な位置にあることが影響している。</p> <p>第5、 宿泊旅行の経済効果は日帰りの 3 倍以上あり 15 兆円を超す。宿泊してもらい、夜の時間を豊にすごしてもらうことが大切。最近では駅から遠い不便な場所でも有料イルミネーションによるまちおこしで 3000 万人呼べる自治体も出来ている。</p> |

政務活動費領収書等添付用紙

|      |     |
|------|-----|
| 使途項目 | 2-3 |
|------|-----|

貼付欄

# 領収書



第19回 国際交流会議 アジアの未来  
19th International Conference on The Future of Asia

受講番号  
1136

発行日: 2013年5月13日(月)

落合 隆夫 様/御中

第19回 国際交流会議「アジアの未来」受講料

¥ 42,000 (消費税込)

上記金額を領収いたしました。

収入印紙



第19回 国際交流会議「アジアの未来」事務局  
〒100-0013 東京都千代田区千代田4-2  
大同生命館4階404号室  
TEL: 03-3508-1249 FAX: 03-3508-1718  
E-mail: foa2013@convention.jp

## 備考

第19回国際交流会議「アジアの未来」受講料  
昼食代2,000円相当×2回分を引いた、38,000円を計上

政務活動費領収書等添付用紙

|      |     |
|------|-----|
| 使途項目 | 2-5 |
| 貼付欄  |     |

領収証

No.A 520418

落合様

25年 5月 14日

|    |  |  |  |  |  |   |   |   |   |   |  |
|----|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|--|
| 金額 |  |  |  |  |  |   |   |   |   |   |  |
|    |  |  |  |  |  | 4 | 8 | 5 | 0 | 0 |  |

但 銀行代金

|       |          |
|-------|----------|
| 現金    | 4,850.00 |
| 小切手   |          |
| クレジット |          |

上記正に領収いたしました

JR四国旅客鉄道株式会社

〒760-8580 香川県高松市浜ノ町8番38号

発行箇所 ワーブ高松支店

印紙税申告納  
付につき高松  
税務署承認済

24.10.3×50×1,000 (中央納)

備考

第19回国際交流会議「アジアの未来」旅費 落合隆夫

政務活動記録票

氏名 落合隆夫

|               |  |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
|---------------|--|----------|----------|--------------|---------|------------|-----------|------|------|---------------|---------|--------------|---------|--------|-------------|------|---------------------|--|-----------------------|--------|-------------|------|---------------------------|
| 年月日           | 平成 25 年 5 月 23・24 日  |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
| 場 所           | 東京都内   |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
| 相手方           | 第 19 回国際交流会議 アジアの未来  |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
| 目 的<br>内 容    | <p>今回のテーマはアセアンとの対話交流 40 周年であることから、共生の方策を探るとしている。</p> <p>基本的に 30 分の提案、報告と 15 分の質疑応答で進められた。多くの報告者から 15 年発足のアセアン経済共同体への期待意気込みが語られたがそれでもタイやシンガポールの地域内先進国とやっとな混乱が落ち着いた国があり平等互惠は難しそうである。</p> <p>中国の発展と域内経済へのプレゼンスの巨大化と海洋での紛争が一体として各々の危機意識として語られていた。しかし尖閣での争いについては日本と中国で話し合いをと突き放していた。</p> <p>日本からの企業進出が進んでいる、歓迎するとの発言であるがまずインフラ整備への協力を続け、企業活動はあくまで民生発展に寄与するものとの意識付けでの進出でなければ、将来排外活動を惹起しかねないと考える。</p> <p>講師団</p> <p>1 日目</p> <table border="0"> <tr> <td>リー・シエンロン</td> <td>シンガポール首相</td> </tr> <tr> <td>アルバート・デルロサリオ</td> <td>フィリピン外相</td> </tr> <tr> <td>トンルン・シスリット</td> <td>ラオス副首相兼外相</td> </tr> <tr> <td>岸田文雄</td> <td>日本外相</td> </tr> <tr> <td>ファズレ・ハサン・アベッド</td> <td>BRAC 代表</td> </tr> <tr> <td>グエン・テイエン・ニャン</td> <td>ベトナム副首相</td> </tr> <tr> <td>パネル討論①</td> <td>モデレーター 北岡伸一</td> </tr> <tr> <td>パネラー</td> <td>川島 真      スリン・ピッサワン</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーサー・ウォルドロン      閻 学通</td> </tr> <tr> <td>パネル討論②</td> <td>モデレーター 宮本雄二</td> </tr> <tr> <td>パネラー</td> <td>朱 建榮      肖 敏捷      鈴木 貴元</td> </tr> </table> | リー・シエンロン | シンガポール首相 | アルバート・デルロサリオ | フィリピン外相 | トンルン・シスリット | ラオス副首相兼外相 | 岸田文雄 | 日本外相 | ファズレ・ハサン・アベッド | BRAC 代表 | グエン・テイエン・ニャン | ベトナム副首相 | パネル討論① | モデレーター 北岡伸一 | パネラー | 川島 真      スリン・ピッサワン |  | アーサー・ウォルドロン      閻 学通 | パネル討論② | モデレーター 宮本雄二 | パネラー | 朱 建榮      肖 敏捷      鈴木 貴元 |
| リー・シエンロン      | シンガポール首相   |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
| アルバート・デルロサリオ  | フィリピン外相  |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
| トンルン・シスリット    | ラオス副首相兼外相  |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
| 岸田文雄          | 日本外相   |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
| ファズレ・ハサン・アベッド | BRAC 代表  |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
| グエン・テイエン・ニャン  | ベトナム副首相  |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
| パネル討論①        | モデレーター 北岡伸一  |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
| パネラー          | 川島 真      スリン・ピッサワン  |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
|               | アーサー・ウォルドロン      閻 学通  |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
| パネル討論②        | モデレーター 宮本雄二  |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |
| パネラー          | 朱 建榮      肖 敏捷      鈴木 貴元  |          |          |              |         |            |           |      |      |               |         |              |         |        |             |      |                     |  |                       |        |             |      |                           |



## 2 日目

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| インラック・チナワット     | タイ首相              |
| スリ・ムルヤニ・インドラワテイ | 世界銀行専務理事          |
| キエット・チョン        | カンボジア副首相兼財務経済相    |
| 黒田東彦            | 日本銀行総裁            |
| マハティール・ビン・モハマド  | マレーシア元首相          |
| サイモン・ブリッジス      | ニュージーランド エネルギー資源相 |
| パネル討議           | モデレーター 石毛博行       |
| パネラー            | ワテイト・チョークワッタナー    |
|                 | 飯ヶ谷清明 シヤンドラ・タンガベル |
|                 | 山下純一              |

リー シンガポール首相は、中国人は権利を主張したが、米中両国のリーダーは自国内の圧力を抑え、信頼構築に向け定期的な対話を進めることを求め、日本にとって最も重要な中国との関係は、尖閣諸島の問題が関係を停滞させている、いかなる行動も諸島の法的地位に影響を及ぼさない、両者が自制し、接触を保ち、沈静化することを望む。そして右傾化の一例と受け止める憲法改正の論議を進めることに疑問を示し、日本政府が決めることではあるが、アジアの国々と新しい関係づくりを進める時に、何が最も重要なのか日本政府は考えなければならないはずだ。アジアの未来は明るい、日本が「日いずる国」のままであってほしい。と期待を語った。

インラック タイ首相は、マレー半島を迂回する航路に対抗する、南北回廊、東西回廊によって、ミャンマーで計画されているダウエー経済特区はインド洋経由で中東、アフリカまで結ぶことができる。アセアン経済共同体の域内インフラを整備する事はアジアの未来への投資である。

将来、民間企業の準備が整えばTPPに参加すると思うと語り、共同体の発展に希望と自らのリーダーとしての自信を見せていた。

パネル討議では、アーサーウォルトンと閻学通の間で尖閣や核武装に関しエキサイトする場面もあったが、多くは日本への期待とアセアン経済共同体発足に向けた希望を高らかに語っていた。

香川からもアセアン諸国に工場を持つなど関係が進んでいる状況にありこれら諸国の経済・政治状況等ミニマム知識として学習することができ幸いでありました。

政務活動費領収書等添付用紙

|      |     |
|------|-----|
| 使途項目 | 3-1 |
|------|-----|

貼付欄

領 収 証

落合隆夫 様

No.

\*7486,500-

|          |    |
|----------|----|
| 内 訳      | 現金 |
| 現金       | 現金 |
| 小切手      | /  |
| 手形       | /  |
| 消費税額等(%) |    |

但し、本領収書は、前記欄に記された金額を以て、

26年 3月28日 上記正に領収いたしました。

株式会社羽野編集事務所

代表取締役 羽野 茂雄

〒769-0100 香川県高松市国分寺町柏原1039

TEL (087) 874-2800

FAX (087) 874-1040



備 考

政務活動費領収書等添付用紙

|   |   |   |
|---|---|---|
| 使途項目  | 3-2   |   |
| 貼付欄   | 第 3-2 号<br><業務委託等><br><input type="checkbox"/> 株式会社ゆうちょ銀行<br><input type="checkbox"/> 株式会社かんぽ生命保険<br><input type="checkbox"/> 郵便貯金・簡易生命保険管理機構 |   |
|   | 領収書<br>様<br>現金 320,000 円<br>小切手 円<br>切手 円<br>証紙 円<br>内消費税額 円<br>受領金額 円  |   |
| ※ 金額欄を訂正しているものは無効です   |   |   |
| 郵便  | 切手・封書・印紙・販売品の販売<br>郵便料金の取納<br>[ 別納 計器予約金 受取人払 ]<br>[ 差込 その他 ]   | ① 枚 円 × 2000 (枚・個・通・件)<br>② 枚 円 × (枚・個・通・件)<br>③ 枚 円 × (枚・個・通・件)<br>④ 枚 円 × (枚・個・通・件) |
| 貯金  |   |   |
| 保険  | 2回目以降の保険料の払込み   | 月 年 月 年 月 年<br>月 年 月 年 月 年<br>月 年 月 年 月 年   |
| 物販等   | 店頭販売商品の販売<br>カタログ販売<br>その他  |   |
| 上記の金額を、確かに領収いたしました。<br>H. 26 年 3 月 27 日<br>取扱郵便局 山内 郵便局<br>電話番号 087-874-1001<br>受領者氏名 [Redacted]<br>所在地：東京都千代田区霞が関1-3-2<br>日本郵便株式会社<br>※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。 |   |   |

備考

左報告紙(115-2) 郵送料

517,016円計上

政務活動費領収書等添付用紙

使途項目 17-3

貼付欄



落合隆夫

マツヤデンキ 国分寺店  
TEL: 087-875-0130  
FAX: 087-875-1028  
ポイントカード会員募集中!

領収書

No. 0638-311-066206 [現金売]

2013/04/25 17:20

レジ担当: 087564

販売担当: 087564

会員 No. 6383050109843

3194694017 BC310 310  
キャッシュ 1: 持帰 10

¥2,510

3194695014 BC311 310  
キャッシュ 1: 持帰 10

¥2,720

小計 ¥5,230

ポイント値引 0P

合計 ¥5,230

(内消費税 ¥249)

現金 ¥5,230

お預り ¥5,300

お釣り ¥70

ポイント会員 No. 6383050109843

前回累計ポイント数 502P

今回ポイント数 0P

今累計ポイント数 523P

累計ポイント数 1,026P



0638311055206B

商品の返品につきましては  
必ずこのポイントカード  
をお持ち下さい。返品が  
出来ません。

印紙税申告納  
付につき南  
税務署承認済

7911-9-トナ-

備考

政務活動費 金銭内訳票

高松市議会議員 落合 隆 夫

| 項目      | 内 訳       | 金額 (円) | 摘 要 (円)                                    |
|---------|-----------|--------|--|
| 1 調査研究費 | 4 その他の費用  | 2,134  | インターネット接続料                                 |
| 2 研修費   | 2 講師謝金    | 454    | 勉強会講師謝金                                    |
| 3 広報費   | 1 広報紙等印刷費 | 21,442 | 同志会だより印刷代・同志会封筒印刷代・同志会だより挨拶文印刷代・イラストレイアウト料 |
|         | 2 広報紙等送料  | 18,319 | 同志会だより封入・仕分け・発送代                           |
|         | 5 その他の費用  | 8,686  | ホームページ更新料等                                 |
| 4 広聴費   | 1 会場借上げ料  | 3,675  | 連合自治会との市政懇談会                               |
|         | 3 湯茶代     | 1,451  | 連合自治会との市政懇談会                               |
|         | 4 その他の費用  | 791    | 連合自治会との市政懇談会の案内状発送代等                       |
| 7 資料作成費 | 3 事務用品購入費 | 2,231  | プリンタートナー購入費                                |
| 8 資料購入費 | 1 図書購入費   | 13,661 | 新聞代等                                       |

支出合計 72,844

政務活動費預り金額

政務活動査費 120,000

|      |        |
|------|--------|
| 返戻金額 | 47,156 |
|------|--------|

※ 平成26年3月4日(火) 指定口座振込